



令和5年(2023年)3月7日(火)
広島市安佐動物公園 管理課長：与倉
担当：企画広報係 川田 ☎082-838-1111

動物シンポジウム

「DNA が教えてくれるツキノワグマ」

広島市安佐動物公園では、広島大学生物生産学部(西堀正英教授)が行う、空气中に存在する環境 DNA に関する研究に協力しています。この研究は、空气中に漂う極僅かな生きものの DNA を回収・解析することによって、周辺環境に生息する動物を発見(検出)する最先端の技術を活用するもので、これにより、ツキノワグマの生息を予測、確認し、広島市におけるクマからの被害を未然に防ぐことを研究の目的のひとつとしています(広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業)。このたび、令和4年度の活動成果を市民に還元するためのシンポジウムを開催します。さらに、これによる市民の野生動物や自然環境への理解を深める契機とするともに、参加者との意見交換を行ないます。

1 日時

令和5年3月19日(日) 13時から16時

2 会場

安佐動物公園 動物科学館2階ホール

3 対象者及び参加費

当日の入園者(参加費無料、入園料は必要)

4 内容

13時～ はじめに、広島市安佐動物公園園長・南 心司(みなみしんじ)

13時15分～ 話題提供(各30分)

- (1) 西堀 正英(にしほりまさひで) 広島大学生物生産学部教授
「DNAって何?DNAで何がわかるのか?身近なDNAを科学する」
- (2) 増田 和志(ますだかずし) 広島大学生物生産学部4年生
「大気中の環境DNAおよび痕跡(糞)によるツキノクマ生息・出没モニタリングと個体識別の試みについて」
- (3) 松本 華林(まつもとかりん) 広島県立安古市高等学校2年生
課題探究より
「野生のクマとコミュニケーションをとるにはどうしたらよいのか」
- (4) 西堀 正英(にしほりまさひで) 広島大学生物生産学部教授
「野生動物フィールド調査からラボワークの成果から」
- (5) 畑瀬 淳(はたせじゅん) 広島市安佐動物公園飼育・展示課課長補佐
「「ツキノワグマ」ってこんな生きもの!」
- (6) 参加者みんなで考える、ツキノワグマに遭わないために
【パネラー】 畑瀬 淳, 増田 和志, 西堀 正英

16時 閉会

開園時間 午前9時から午後4時30分まで(ただし、入園は午後4時まで)

入園料 大人510円、65歳以上・小人(高校生及び高校生相当年齢)170円 ※中学生以下無料
※65歳以上の適用には公的証明書が必要

休園日 毎週木曜日(ただし、3/30は開園)